

こころの医療センター（仮称）整備事業について ～矢吹病院の建て替え～

1. 矢吹病院の建て替えについて

矢吹病院では、建物の老朽化や精神科医療の環境の変化に対応するため、病院機能の強化を目的とした施設の全面建て替えを計画しています。

また、病院名を変更するとともに、県立病院で唯一の精神科病院として、福島県内の精神科医療の更なる充実を図ります。

先進的な精神科医療の提供

震災ストレスへの対応

- 軽度のうつ等でも気軽に受診のできる明るく開放的な病院
- 県内初となる児童思春期病床の設置（20床程度）
- 児童思春期外来「ふくしまモデル」等による初診までの待機期間への対応・・・H28待機期間約4か月 → H29 約2か月

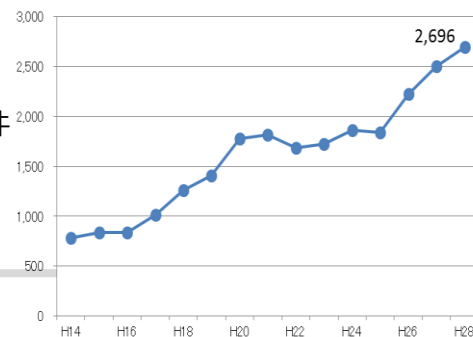


こころの医療センター（仮称）イメージ図

地域生活支援の強化

- 訪問支援（アウトリーチ）の実施・・・H28実績 延べ377件
- 訪問看護の実施・・・H28実績 延べ2,696件
- 認知症初期集中支援チームへの参画・・・H29.4～
- 認知症疾患医療センターの設置・・・H29.6～

矢吹病院訪問看護実施件数



精神科救急の強化

- 急性期医療の充実・・・医師確保による常時救急医療体制の充実
- 処遇困難事例への対応・・・H28実績 15件
- 医療観察法病床の設置（6床程度）

2. 建て替えが必要な理由

現在、病棟として使用している建物は建築から34年が経っています。また、使われていない旧病棟は建築から52年が経過しており、全体的に老朽化が目立っています。

また、医療環境の変化にも対応する必要があります。

矢吹病院の老朽化状況



鉄格子の窓



さび付いた転落防止柵



多床室の病室



使われていない旧病棟

新病院で配慮する点

- 明るく開放的な病院、地域へ開かれた病院へ
- 全室個室にするなど居住環境に配慮した病院へ
- 児童思春期病棟、医療観察法病棟の設置など医療環境の変化に対応した病院へ

3. 新病院の建て替え予定地と基本機能・規模

新病院の建て替えは現在の矢吹病院の敷地にて計画しています。現病院を運営しながら新病院の建設工事を行います。

基本機能・規模（想定）

（）内は現病院

床面積	約13,500㎡（13,942㎡）
診療科目	精神科、内科、歯科
病床数	150床程度（149床）
病床内訳	救急病床：45床程度（44床） 慢性期病床：45床程度（48床） 社会復帰病床：34床程度（57床） 児童・思春期病床：20床程度（新） 医療観察法病床：6床程度（新）
その他	精神科デイケア 訪問看護ステーション 認知症疾患医療センター



地図の出典:国土地理院ウェブサイト

4. 事業スケジュール等について

○ 建て替えの事業スケジュール

現在、設計のための条件を確定する基本計画を策定中です。基本計画完了後は、設計から工事へとすみ、平成34年度の新病院開院を目指しています。

平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
基本計画	基本設計	実施設計				
			建設工事			開院

○ 地域のみなさまへのご説明

- 今回 → 策定中の基本計画の概要
- 次回以降 → 事業の節目節目で進捗状況を説明

○ 地域のみなさまへのご説明

8月29日（火） 19:00～	滝八幡区
8月30日（水） 19:00～	柿之内区
8月31日（木） 19:00～	北町下区

【お問い合わせ先】

福島県病院局 024-521-7228
福島県立矢吹病院 0248-42-3111